TOSHIBA

gigabeat F60 / F20 / F10

東芝 HDD オーディオプレーヤー

形名　MEGF60 / MEGF20 / MEGF10

取扱説明書



このイラストは MEGF60 のイメージです。

●このたびは東芝HDDオーディオプレーヤーgigabeatをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

●お求めのgigabeatを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

●お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

●保証書を必ずお受け取りください。

●製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

はじめに

本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本製品の基本的な操作のしかたを説明しています。あわせて「gigabeat room 取扱説明書」もご覧ください。
意匠、仕様、ソフトウェアおよび取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

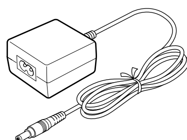
商標について

- gigabeat は株式会社東芝の登録商標です。プラスタッチ、gigabeat room および RipRec は株式会社東芝の商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Media は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentiumはアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標です。
- WOW、SRS と（●）記号は SRS Labs, Inc. の商標です。WOW 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- 取扱説明書に記載の商品の名称は、それぞれ各社が登録商標または商標として使用している場合があります。

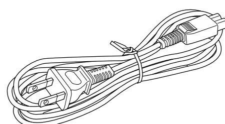
付属品一覧

gigabeat には以下の付属品があります。お確かめください。

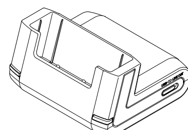
AC アダプター



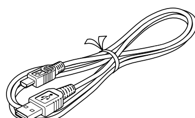
電源コード（国内専用）



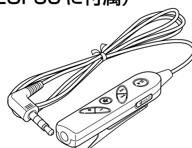
USB クレードル
（MEGF60 に付属）



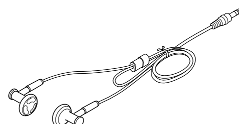
USB ケーブル



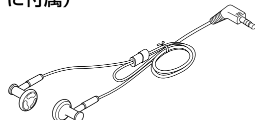
ワイヤードリモコン
（MEGF60 に付属）



ヘッドホン
（MEGF60 に付属）



ヘッドホン
（MEGF20、MEGF10 に付属）



ソフトウェア CD-ROM
(TOSHIBA gigabeat room Applications Software CD)



- 取扱説明書（本書）
- gigabeat room 取扱説明書
- ネットワーク編 取扱説明書
- クイックスタートガイド
- ソフトウェア使用許諾契約書
- 保証書／お客様登録のご案内

ラジオ・テレビなどへの電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

もくじ

はじめに

準備する

使用する

その他

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図　記　号	図　記　号　の　意　味
🛇 禁　止	“🛇”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

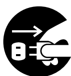
- 地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用、または使用不能から生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等について、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に関し、法律の定める範囲において、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。
- 記憶装置（ハードディスクなど）に記録された内容は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねます。
- 修理や点検のとき、お客様が記録したオーディオデータなどが消去される場合があります。あらかじめご了承ください。

ご使用になるとき

⚠警告

異臭・発煙・過熱などの異常が発生したときは電源を切り、AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電・やけどの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



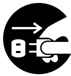
異物や水などが機器の内部にはいったときは電源を切り、AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。



機器を落としたり、キャビネットを破損したときは電源を切り、AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。



分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。修理、内部の点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。



金属類や燃えやすいものなど異物を内部に入れないこと

火災・感電の原因となります。端子、その他の穴や隙間に、異物を入れたり落とし込んだりしないでください。



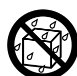
航空機内や病院内など、使用を禁止された場所では電源を切り、使用しないこと

使用すると運行装置や医療機器などに影響を与え、事故の原因となります。離着陸時に本機を使用することは航空法で禁止されています。



水がかかる場所で使用しないこと

火災・感電の原因となります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。



風呂場・シャワー室で使用しないこと

火災・感電の原因となります。



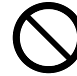
雷が鳴りだしたら電源配線や機器に触れないこと

感電の原因となります。



歩行中、自動車・オートバイなどを運転中に操作しないこと

転倒・交通事故の原因となります。周囲の音に気付かずに、思わぬ事故にあう原因となります。



梱包に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように、注意すること

かぶったり飲み込んだりして窒息するおそれがあります。



機器から液がもれたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけること

機器からの液もれは、内蔵電池からの液もれです。
もれた液に引火し、破裂する原因となります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



内蔵電池は、指定された充電方法以外で充電しないこと

火災・破裂・発熱の原因となります。



火のそばや炎天下などで充電したり、放電しないこと

内蔵電池から液もれし、引火・破裂の原因となります。



⚠注意

湿気・湯気・油煙・ほこりの多い場所で使用しないこと

火災・感電の原因となることがあります。


禁止

移動させるときはコードやケーブルをはずすこと

コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。


指示

お手入れするときは、AC アダプターをはずすこと

取りつけたまま行うと、感電の原因となることがあります。


指示

付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーなどで再生しないこと

ヘッドホンやスピーカーを破損したり、耳をいためたりするおそれがあります。


禁止

持ち運ぶときに振り回さないこと

人やものにぶつけたりしてけがの原因となることがあります。


禁止

落としたり、強い衝撃を与えないこと

破損して火災・感電の原因となることがあります。


禁止

機器から液がもれたときは、液には触れないこと

機器からの液もれは、内蔵電池からの液もれです。
液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目にはいったときは、すぐにきれいな水で十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。


禁止

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談すること

この商品に使用している材料、表面処理によって、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。


指示

温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、発熱・火災の原因となることがあります。また、破損してけがの原因となることがあります。


禁止

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。


禁止

表示画面に衝撃を与えないこと

破損したり、ガラスが割れたり内部の液がでてくることがあります。内部の液が目にはいったり、体や衣服についたときはきれいな水で洗い流してください。目にはいった場合は、その後医師の治療を受けてください。


禁止

乳幼児の手の届かないところに保管すること

けが・事故の原因となります。


指示

布やふとんの上に置いたり、覆ったりしないこと

熱がこもってキャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。


禁止

ACアダプターについて

⚠警告

ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること


指　示

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

ACアダプターを分解・改造・修理しないこと


分解禁止

火災・感電の原因となります。

ACアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること


指　示

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと


禁　止

火災の原因となることがあります。

ACアダプターの電源コードは


禁　止

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと。**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。**

火災・感電の原因となります。

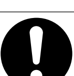
⚠注意

付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと


禁　止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

ACアダプターの電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと


指　示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと


引っ張り禁止

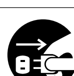
コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

ぬれた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないこと


ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くこと


プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

ACアダプターと電源コードは、付属のものを使用すること


指　示

指定以外のACアダプター、電源コードを使用すると、火災の原因となります。

使用上のお願い

取扱いに関すること

- 強い衝撃を与えないでください。破損や記録済みの内容が破壊される原因となります。
- 表示画面に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- 硬いものと一緒にかばんなどに入れると、押されたときなどに壊れるおそれがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れるおそれがあります。
- プラスタッチを強く押し込まないでください。内部の部品に大きな力が加わり、壊れるおそれがあります。

使用する場所について

- gigabeat をラジオ、テレビ、携帯電話などの近くでご使用になると、受信障害の原因となることがあります。その場合は、gigabeat を離してご使用ください。
- 混雑した電車内などで、大きな音量で聴くと周囲の迷惑になることがあります。

結露（露付き）について

- gigabeatを寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときや、寒い室内で急に暖房したようなときには、本体の表面に水滴が付くことがあります。このような場合には、内部にも水滴が付いていることがありますので、電源を入れないで、1時間ほどたってからご使用ください。

お手入れに関すること

本体のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

記録したオーディオデータについて

- gigabeat やパソコンの不具合で、オーディオデータが破損または消去された場合、そのデータ内容の補償はできません。
- gigabeat に転送し、記録したオーディオデータをパソコン内に戻しても、暗号化は解除されません。
- gigabeat に転送し、記録したオーディオデータを他の gigabeat にコピーしても、コピーしたオーディオデータは再生できません。

著作権について

● お客様が記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

● 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法によって、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

音楽CDについて

● ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークのはいったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質などの保証はいたしかねます。

ユーザー登録のお願い

● ユーザー登録をしていただいたお客様には当社の判断によって、gigabeat に関するサービスや製品情報の案内をさせていただく場合がありますので、ユーザー登録にご協力いただきますようお願いいたします。

下記 web サイトでも、ユーザー登録できます。

http://room1048.jp/

● 出荷以降、より良くお使いいただくために、ファームウェア（gigabeat 内部）のバージョンアップをする場合があります。バージョンアップの方法などはホームページに掲載いたします。

gigabeat ホームページ　http://www.gigabeat.net/

内蔵ハードディスクについて

gigabeatにはハードディスクが内蔵されています。ハードディスクは衝撃や振動、温度などの環境の変化を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますのでgigabeat をお使いの際には、以下のことにお気をつけください。

- 直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 極端に低温になるところに置かないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 急激な温度変化を与えないでください。
  結露が生じ、故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 雷が鳴っているときは使用しないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 磁石やスピーカーなど磁気を発するものの近くに置かないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 振動が強いところに置かないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- ものを載せたり、ものを落としたりしないでください。
  破損、故障、記憶内容の消失の原因となります。
- 水のかかるところや、湿気の多いところに置かないでください。
  ぬれると使用できなくなったり、故障の原因となります。
- 近くにコップなど、液体のはいった容器を置かないでください。
  液体がこぼれると、使用できなくなったり、故障の原因となります。
- 動作中、または非動作時に振動、衝撃を与えたり、振りまわしたり、落としたりしないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 強い力で押したり、ひねったりしないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 内蔵ハードディスクへの書込み、読出し中は電源を切ったり、ＵＳＢケーブルを取りはずしたり、USB クレードルから抜いたりしないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 内蔵ハードディスクに保存しているデータは、万一故障したり、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップを取って保存してください。
  内蔵ハードディスクに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

内蔵ハードディスクに関するご注意

内蔵ハードディスクは、フォーマットしないでください。フォーマットすると、内蔵ハードディスク内にあるファームウェア（gigabeat が動作するためのソフトウェア）が消失し、gigabeatが動作しなくなります。フォーマットしてしまった場合は、ファームウェアの修復が必要になります。「gigabeat room取扱説明書」、「困ったときは」の「ファームウェアデータの修復方法」に従って修復してください。

廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

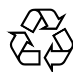
● gigabeatには、ハードディスクが内蔵されています。ハードディスクを使用していた状態のまま廃棄・譲渡すると、ハードディスク上の情報を第三者に見られてしまうおそれがあります。廃棄・譲渡するときは、ハードディスク上のすべてのデータを消去してください。
ただし、データの消去、ハードディスクのフォーマットをしただけでは、悪意を持った第三者によってデータが復元されるおそれがあります。見られたくない情報を保存していた場合には、市販のデータ消去ソフトなどを使用してデータを消去し、復元されないようにすることをおすすめします。

内蔵電池について

● 内蔵電池は、gigabeat を使用しなくても少しずつ自然放電していきます。gigabeat を長時間放置しておいた場合、内蔵電池が放電しきる場合があります。その場合は、充電してからご使用ください。
● 充電時間は内蔵電池の状態や周囲の温度などによって変わります。
● 低温の環境で使用すると、連続再生時間が短くなります。
● 内蔵電池は約 500 回充電できます。（参考値であり、保証する値ではありません）
● 内蔵電池は消耗品です。繰り返し使用していると、使用できる時間が徐々に短くなります。充分に充電しても使える時間が極端に短くなったときは内蔵電池が劣化していると思われます。新しい電池と交換してください。
● 内蔵電池の交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
● 内蔵電池が放電しきったことによって、記憶データが変化・消失しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

内蔵電池のリサイクルについて

gigabeatの内蔵電池は、リチウムイオン充電池を使用しています。リチウムイオン充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。gigabeatを廃棄する際には電池を取り出し、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。


Li-ion

充電式電池の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

社団法人　電池工業会
TEL：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp

また、廃棄するとき以外は、gigabeat を絶対に分解しないでください。

電池の取り出しかたについては、62 ページをご覧ください。

AC アダプターについて

必ず付属のACアダプターをご使用ください。それ以外のACアダプターを使用すると、故障や発熱、発火の原因となることがあります。
ご使用の際は、「安全上のご注意」（➡4 ページ）および以下の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

- AC アダプターの接点部に、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 接続するときは、接続コードのプラグを gigabeat の AC アダプタージャックにしっかり差し込んでください。それ以外の端子に差し込むと故障の原因となることがあります。
- 接続コードを抜くときは、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- 落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- AC アダプターは室内専用です。
- AC アダプターは gigabeat 以外には使用しないでください。
- 通電中、AC アダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。持ち運びは電源コードを抜き、温度が下がってから行ってください。
- 温度の影響を受けやすいものの上に置いて使用しないでください。AC アダプターのあとが残ることがあります。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオ、テレビ、携帯電話の近くで使用すると、受信障害の原因となる場合がありますので、離してお使いください。

仕様

AC アダプター（ADP－15HH）

電源	：AC100 ～240V　50/60Hz
定格入力容量	：AC100 ～240V　31 ～50VA
定格出力	：DC5V 3A
使用温度	：0℃～+40℃
保存温度	：－20℃～+65℃
最大外形寸法	：50mm X 28mm X 65mm（幅 / 高さ / 奥行き）
質量	：約 200g
接続コード長さ	：約 1.5m

お願い

- 付属の電源コードは日本国内向け（AC100V～125V）です。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合した電源コードをご使用ください。

gigabeatの特長

■ ＋（プラス）型タッチセンサー「プラスタッチ™」と、画面に表示される「操作ガイド」の連動で直感的に操作できます。

■ ポケットにスッキリ収まるコンパクトボディに、大きく見やすい2.2型QVGA低温ポリシリコンTFTカラー液晶を搭載しました。

「MEGF20」、「MEGF10」は、厚み16mm、容積107cm^3、質量160g、「MEGF60」は、厚み19mm、容積127cm^3、質量170g 。

■ 付属のソフトウェア「gigabeat room」を使って、音楽ＣＤからgigabeatへのオーディオデータ転送が簡単にできます。

■ MP3、WMA、WAVのオーディオデータが再生できます。

■ 60GB*(MEGF60)、20GB*(MEGF20)、10GB*(MEGF10)の内蔵ハードディスクが、それぞれ約15000曲**、約5000曲**、約2500曲**のオーディオデータ収録を実現します。

MP3、またはWMAフォーマット、128kbps、4分のオーディオデータの場合。

■ 高速通信480MbpsのUSB2.0接続なら、CD1枚分相当のオーディオデータが、約30**秒でgigabeatに転送できます。

Windows® XP Home Edition、Pentium® III 1GHz、MP3 12曲(約60MB、圧縮後データ)の場合。

■ 内蔵のリチウムイオン充電池で、約16時間の連続再生ができます。

常温(25℃)、バックライト非点灯、調節範囲の中央の音量で、128kbps、44.1kHzのWMAオーディオデータを再生した場合。

■ 画面の表示言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語の5ヵ国語から選択できます。

■ ワイヤードリモコン（MEGF60に付属）を使うと、手元で簡単に操作できます。

■ Windows Media® デジタル著作権管理(DRM)をサポートしているので、ライセンス付きWMAにも対応できます。

* 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。実際のフォーマットされた容量は、それぞれ表記の数値よりも少なくなります。

** これらの値は参考値であり、保証する値ではありません。
（連続再生時間は、使用条件や環境条件、内蔵電池の充電繰り返し回数などで異なります。）

本製品の概要

gigabeat は携帯型 HDD オーディオプレーヤーです。

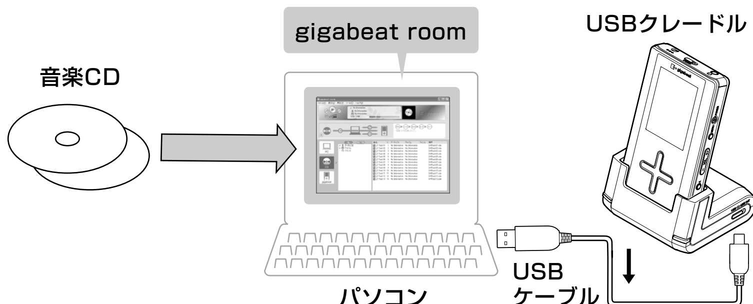
再生するオーディオデータは、付属のソフトウェア「gigabeat room」、Windows Media Player 9 シリーズ、Windows Media Player10（以降 Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 と記載します）を使って、パソコンから gigabeat に転送します。

■ gigabeat room を使って転送

gigabeat roomについて、詳しくは「gigabeat room取扱説明書」をご覧ください。

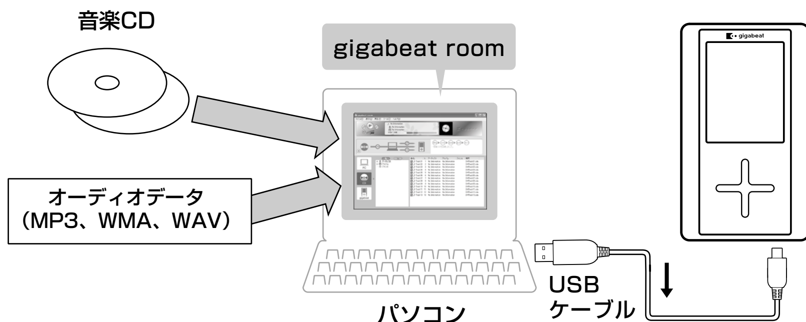
● パソコンと gigabeat を USB クレードルを使って接続（MEGF60 のみ）

RipRec機能（ワンタッチで音楽CDのデータをgigabeatに転送する）が使えます。



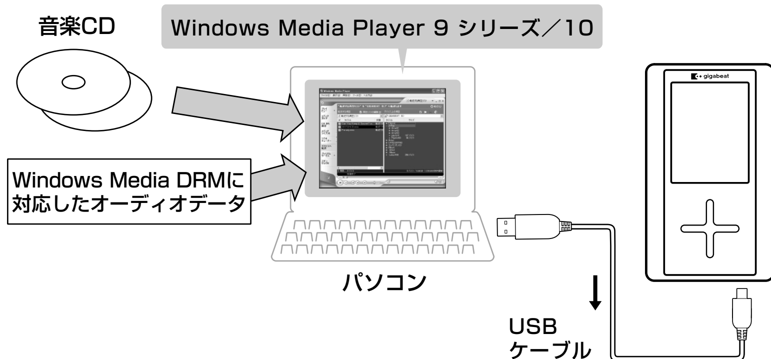
クレードルは MEGF60 に付属しています（MEGF10、MEGF20 は別売）。

● パソコンと gigabeat を直接接続する



■ Windows Media Player 9シリーズ／10を使って転送

Windows Media Player 9シリーズ／10を使う場合は、「Windows Media Player 9 シリーズ／10を使用するときは」（➡「gigabeat room 取扱説明書」36ページ）をご覧ください。



音楽CDはパソコン上で、Windows Media Player 9シリーズ／10を使って、WMAのオーディオデータに変換してから転送します。

お願い

- gigabeatでは、gigabeat room、Windows Media Player 9シリーズ／10を使って転送したオーディオデータ以外は、再生できません。
- gigabeat room、Windows Media Player 9シリーズ／10を使ってgigabeatに転送したオーディオデータは、暗号化されているため、gigabeat以外では再生できません。
- 他のgigabeatにコピーしても、コピーしたオーディオデータは再生できません。
- USBハブを使用してパソコンと接続した場合の動作は保証できません。

本製品の概要（つづき）

gigabeat を使う前に、オーディオデータを gigabeat に転送してください。

gigabeatの準備：
内蔵電池を充電する
➡28ページ

パソコンの準備：
付属のソフトウェアをインストールする
➡「gigabeat room取扱説明書」7ページ

gigabeat roomを使う

音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

パソコンとgigabeatを接続する
➡「gigabeat room 取扱説明書」14ページ

オーディオデータの転送：
gigabeat roomを使って音楽CDのオーディオデータをgigabeatに転送する
➡「gigabeat room 取扱説明書」22 ページ

Windows Media Player 9 シリーズ／10を使う

オーディオデータの準備：
Windows Media Player 9シリーズ／10を使って音楽CDをオーディオデータに変換する
方法については、Windows Media Player 9シリーズ／10の「ヘルプ」をご覧ください。

パソコンとgigabeatを接続する
➡「gigabeat room 取扱説明書」14ページ

オーディオデータの転送：
Windows Media Player 9シリーズ／10を使ってオーディオデータをgigabeatに転送する
➡「gigabeat room 取扱説明書」36 ページ

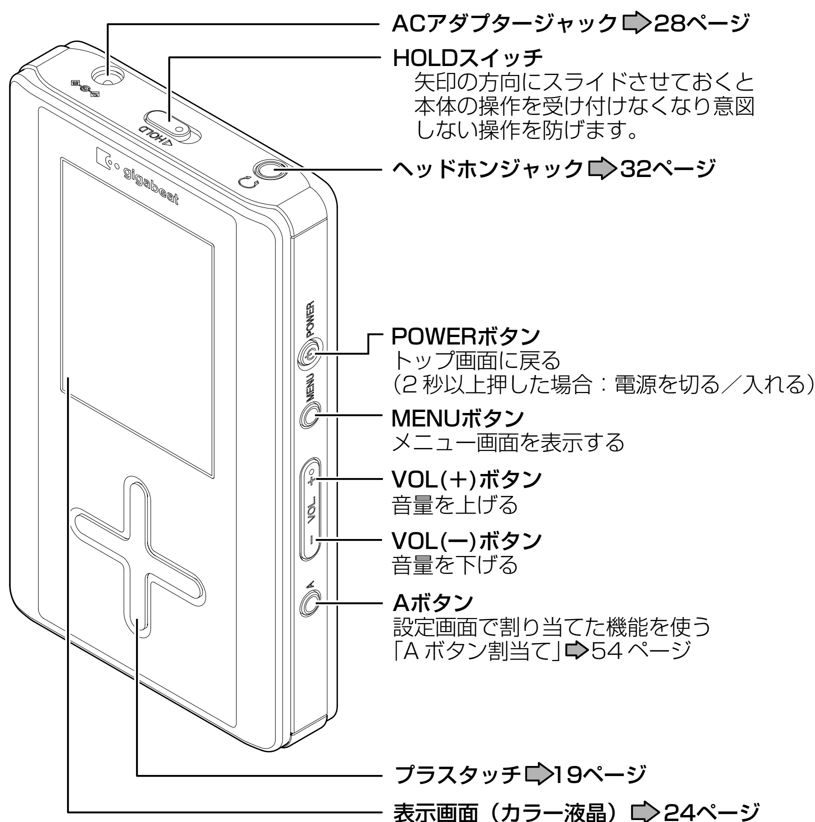
gigabeatでオーディオデータを再生する
➡32ページ

■ gigabeat roomについて

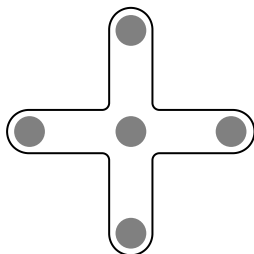
gigabeat roomは、音楽CDのオーディオデータやオーディオデータ（MP3、WMAまたはWAVファイル）を暗号化してgigabeatに転送するソフトウェアです。gigabeat roomについて、詳しくは「gigabeat room取扱説明書」をご覧ください。

各部のなまえとはたらき

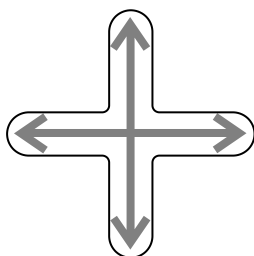
■ 本体前面／側面



■ プラスタッチの操作



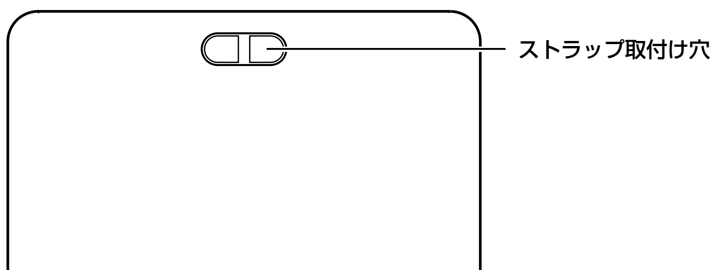
タッチ　指を触れてすぐにはなす
ホールド　指を触れたままにしておく



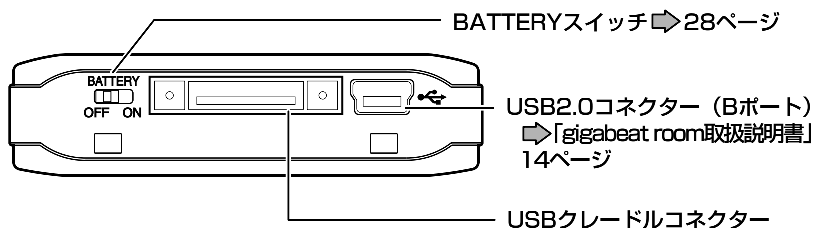
ジェスチャー　なぞる

はじめに
準備する
使用する
その他

■ 本体背面



■ 本体底面

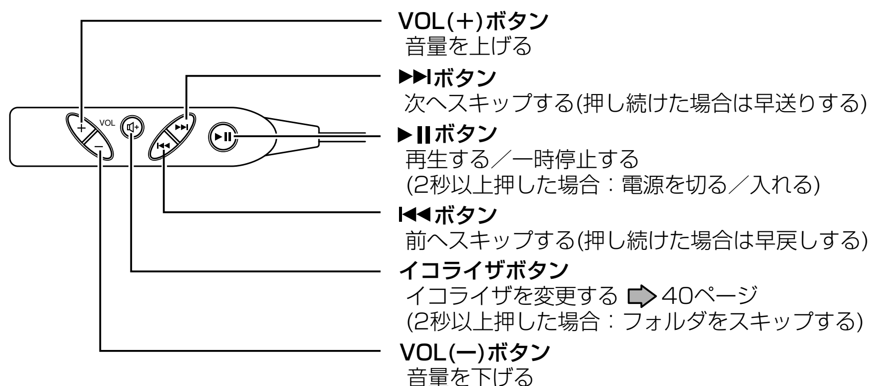


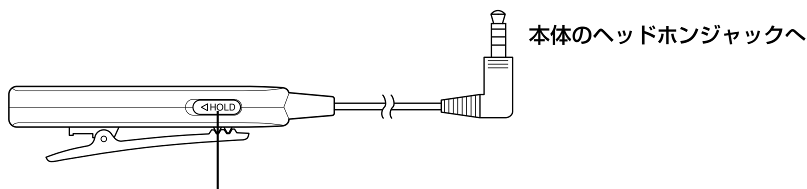
MEGF60 の本体は、MEGF20、MEGF10 よりも厚くなっていますが、本書ではすべて、MEGF20、MEGF10 本体のイメージのイラストで説明しています。

お願い

- 本体底面の USB クレードルコネクターに、付属品、純正オプション以外のものを接続しないでください。
  付属品、純正オプション以外のものを接続して生じた故障や損害については、保証いたしかねます。

■ ワイヤードリモコン（MEGF60に付属、MEGF20、MEGF10は別売）

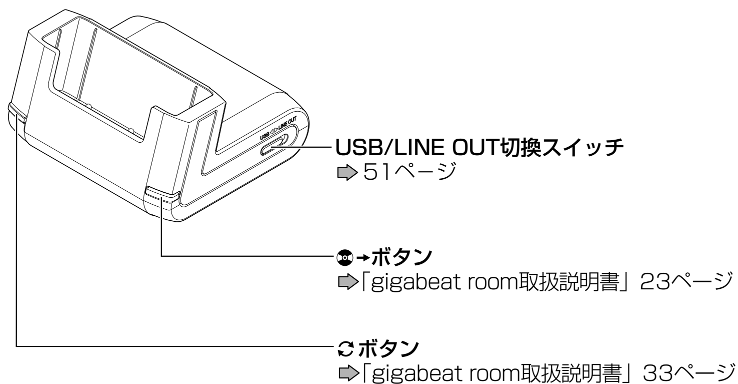


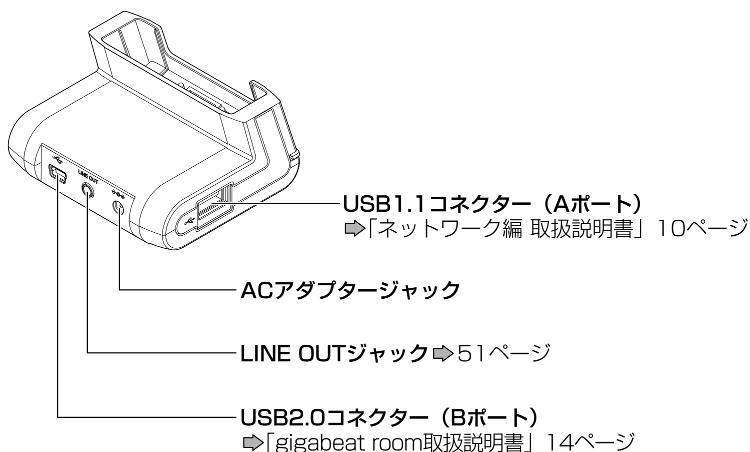


HOLDスイッチ
矢印の方向にスライドさせておくとワイヤードリモコンのボタン操作を受けつけなくなり意図しない操作を防げます。ただし、本体がHOLDの状態になっていないときは、本体の操作を受け付けます。

はじめに
準備する
使用する
その他

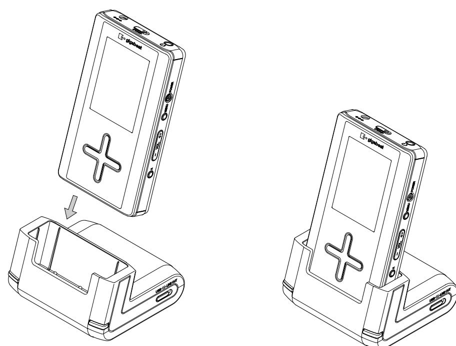
■ USBクレードル（MEGF60に付属、MEGF20、MEGF10は別売）





MEGF20、MEGF10には、USBクレードルを付属していません。RipRec機能やネットワーク機能を使う場合は、別売のUSBクレードル（MEGBCS13）をお買い求めください。

● gigabeat と USB クレードルの接続のしかた

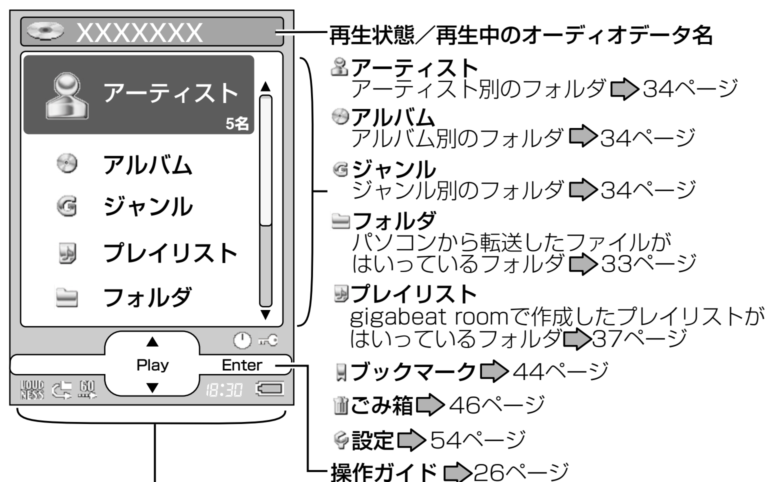


奥までしっかり差し込んでください。

表示画面について

■ トップ画面

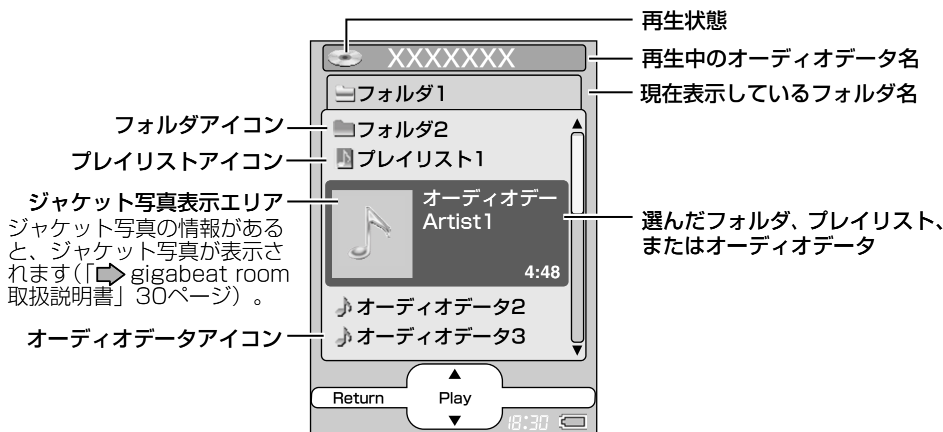
電源を入れたときに表示される画面です。他の画面表示中にPOWERボタンを押しても、トップ画面が表示されます。



イコライザ 40ページ
再生モード 38ページ
イントロ 50ページ
スリープタイマー 54ページ
HOLD状態 18、21ページ
時刻表示 56ページ
電池残量 30ページ
ACアダプターと接続中は、になります。

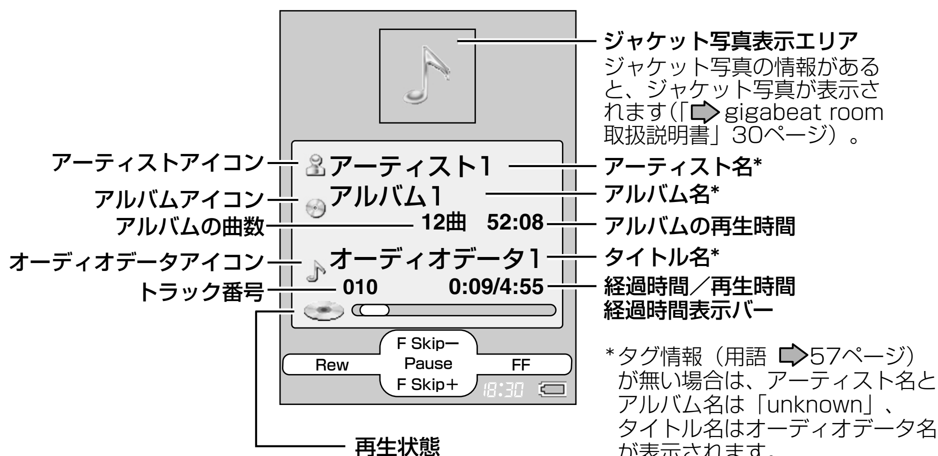
■ ナビ画面

トップ画面でアーティスト、アルバム、ジャンルなど、設定を除く項目を選び、プラスタッチの右をタッチすると、ナビ画面が表示されます。選んだ項目の内容が表示されます。



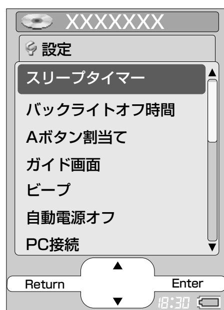
■ 再生画面

再生中のオーディオデータに関する情報が表示されます。



■ 設定画面

トップ画面で「設定」を選び、プラスタッチの右をタッチすると、設定画面が表示されます。設定の変更や確認ができます(54 ページ)。

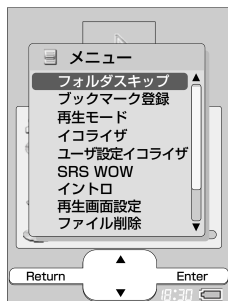


お知らせ

- 全角英数字の表示について
  フォルダ名、オーディオデータ名、プレイリスト名、アルバム名、アーティスト名、タイトル名は半角になります。
- トップ画面、ナビ画面、設定画面で、約 60 秒間何も操作しないと再生画面に戻ります。

■ MENU 画面について

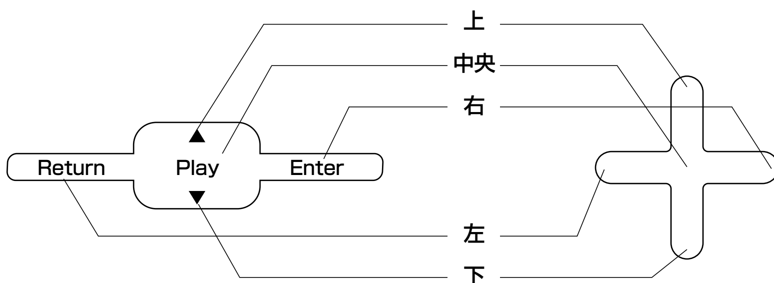
MENU ボタンを押すと、表示されている画面に関連したメニューが表示されます。



- もう一度MENUボタンを押すと、MENU画面は消えます。または何も操作しないと約10秒でMENU画面は消えます。
- MENU 画面の最上位画面でプラスタッチの左をタッチしても MENU 画面は消えます。

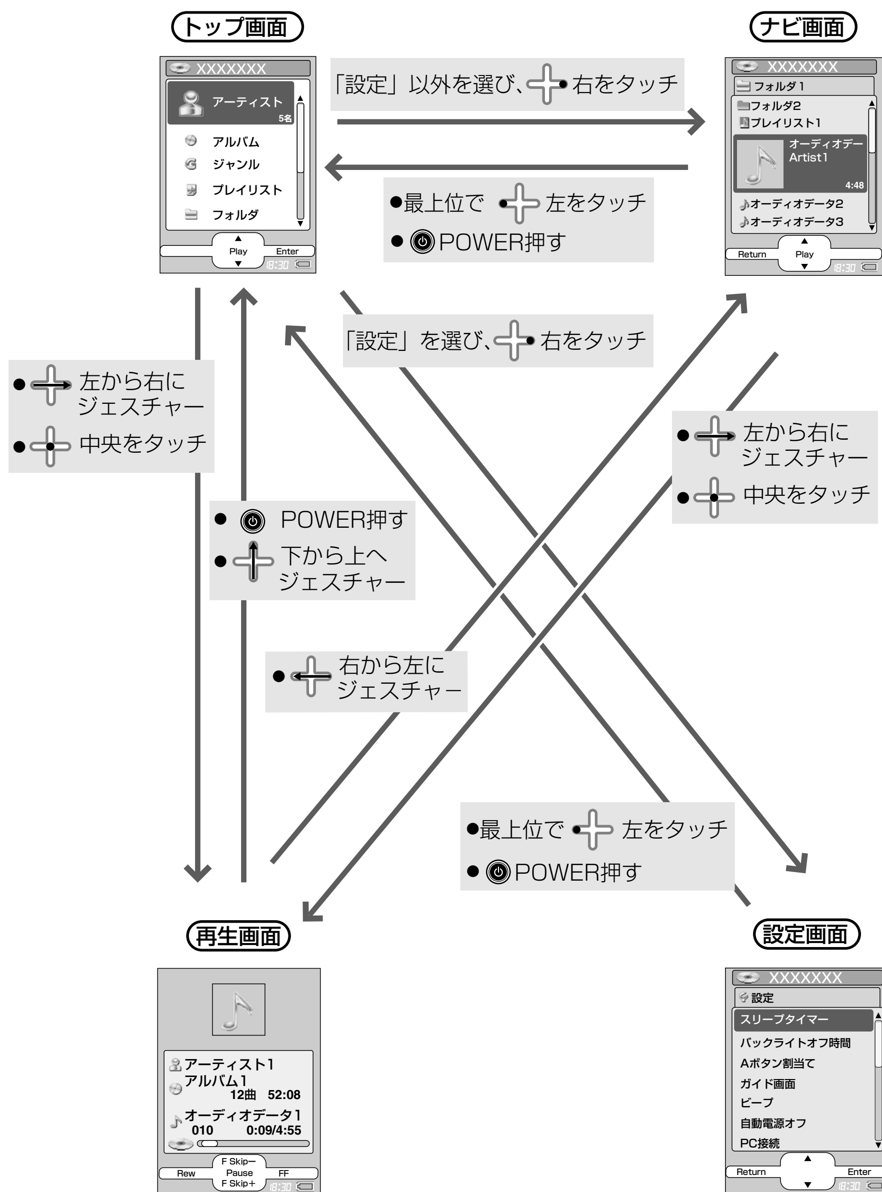
■ 操作ガイドについて

操作ガイドは、プラスタッチをタッチしたときの動作を表示しています。



- MENU 画面で「ガイド画面」の設定を「オフ」にする、または設定画面で「ガイド画面」の設定（➡54 ページ）を「オフ」にすると、操作ガイドの表示を消せます。

■ 画面移行のしかた



トップ画面
ナビ画面
再生画面
設定画面
XXXXXXX
アーティスト
5名
アルバム
ジャンル
プレイリスト
フォルダ
Play
Enter
「設定」以外を選び、右をタッチ
●最上位で 左をタッチ
● POWER押す
フォルダ1
フォルダ2
プレイリスト1
オーディオデー
Artist1
4:48
オーディオデータ2
オーディオデータ3
Return
Play
「設定」を選び、右をタッチ
● 左から右に ジェスチャー
● 中央をタッチ
● POWER押す
● 下から上へ ジェスチャー
● 右から左に ジェスチャー
●最上位で 左をタッチ
● POWER押す
アーティスト1
アルバム1
12曲 52:08
オーディオデータ1
010 0:09/4:55
Rew
F Skip−
Pause
F Skip+
FF
設定
スリープタイマー
バックライトオフ時間
Aボタン割当て
ガイド画面
ビープ
自動電源オフ
PC接続

内蔵電池を充電する

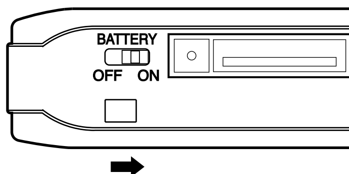
gigabeat に AC アダプターを接続すると、内蔵電池の充電が自動的に始まります。

購入後初めて使うとき、または長時間使わなかったあとは、十分に充電してください。

充電は AC アダプターを直接 gigabeat に接続する方法と、USB クレードル（MEGF20、MEGF10は別売）を使用する方法があります。また、パソコンとUSB 接続しても充電できます。

● 準備

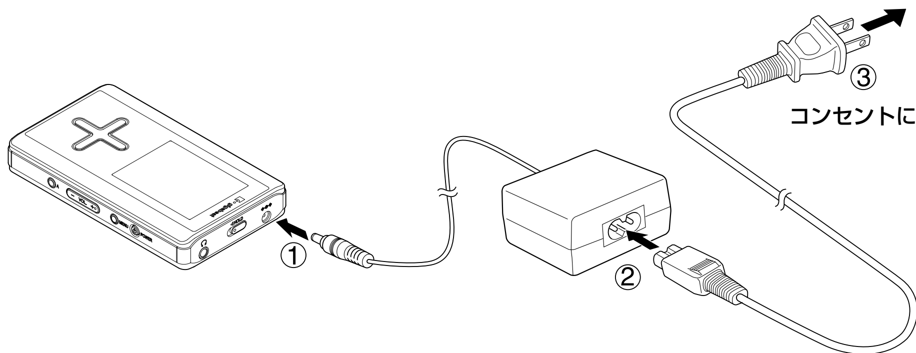
本体底面の BATTERY（バッテリー）スイッチを「ON」にしてください。
このスイッチは電池の過放電を防ぐためのものです。
購入後初めて使うとき、BATTERY スイッチを「ON」にしてください。
長い間使わないときは、BATTERY スイッチを「OFF」にしてください。



BATTERY スイッチを「OFF」にすると、すべての設定が初期値（購入後初めて使うときの状態）に戻ります。

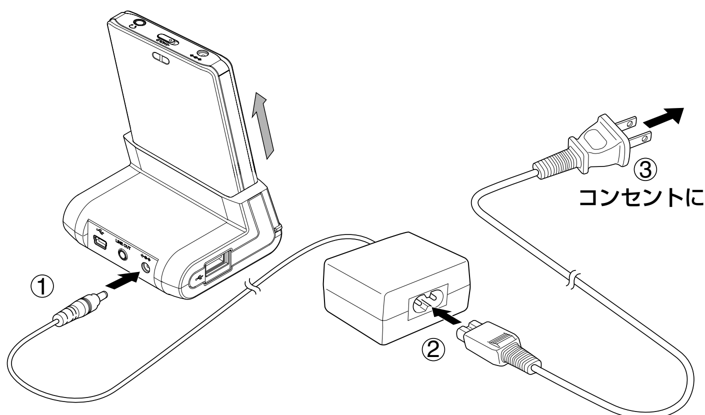
AC アダプターから直接充電する

gigabeat に AC アダプターを下図の順番で接続してください。



USB クレードルを使って充電する

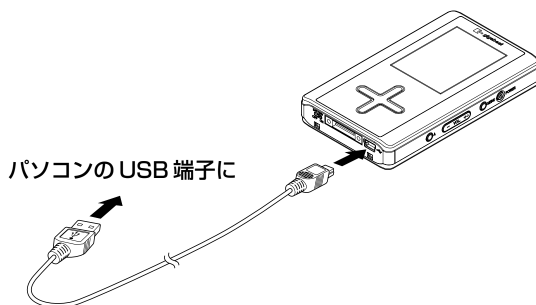
gigabeat をUSB クレードル（MEGF60 に付属）に接続してから、下図の順番に接続してください。



USBクレードルからgigabeatをはずす場合は、上図の矢印（⇨）の方向にまっすぐ抜いてください。

パソコンと USB 接続して充電する

パソコンと gigabeat を付属の USB ケーブルで接続してください。



USB接続して充電していても、オーディオデータの転送など、gigabeatが動作している状態では、バッテリー残量が減る可能性があります。
USB接続の充電は、パソコン本体のUSBバス電源供給機能の性能によるため、パソコンの機種によってはできない場合があります。
充電できないパソコンとUSB 接続したとき、接続がすぐ切れ、パソコン本体のUSB 機能が一時的に使えなくなる場合があります。その場合はパソコンを再起動し、gigabeat に、AC アダプターを接続してから、再度パソコンと USB 接続してください。

お知らせ

- gigabeat の充電が始まると、表示画面に充電中アイコン（赤）が表示されます。充電が終了すると、表示画面に充電完了アイコン（緑）が表示されます。このとおりに画面が表示されない場合は「故障かな…？と思ったときは」（59 ページ）をご覧ください。
- 充電時間は内蔵電池の状態や周囲温度などによって変わります。
- gigabeat 本体の温度上昇を制限するために一時的に充電を停止することがあります。
- 内蔵電池の充電は、使用条件の温度範囲内で行ってください。範囲をはずれていると充電できないことがあります（60 ページ）。
- 内蔵電池の残量が少なくなるごとに、表示（24ページ）が → → → と変わります。電池の残量が少なくなってきたら、充電してください。
- AC アダプターを接続しているときは、が表示されます。

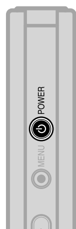
電源を入れる／切る

● 準備

- BATTERY スイッチを「ON」にしてください。（28 ページ）

電源を入れる／切る

POWER ボタンを 2 秒以上押す



ワイヤードリモコン（MEGF60 に付属）の ▶❚❚ ボタンを 2 秒以上押しても、電源の入／切ができます。

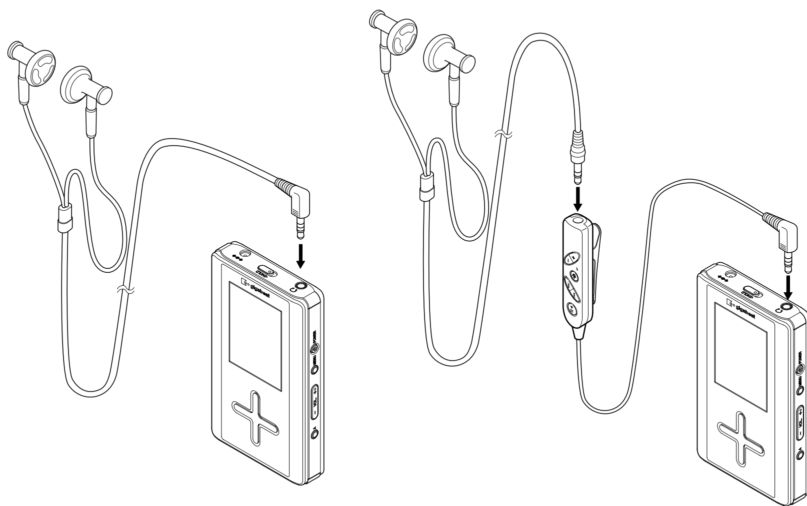
お知らせ

- HOLD状態のときは電源の入/切ができません。HOLDを解除してからボタンを押してください。
- 初めて使うときまたはリセット（59 ページ）後に初めて電源を入れた場合は、「日付と時刻」を設定する画面が表示されますので、「日付と時刻」を設定してください（56 ページ）。
- オーディオデータの再生中、AC アダプターの接続中、または USB 接続中を除き、一定時間何も操作しないと、画面が暗くなり、そのあと画面が消えます。AC アダプター接続中は、画面は暗くなりますが消えません。
  「バックライトオフ時間」54 ページ
  「自動電源オフ」54 ページ
- 画面が消えているときに本体の側面のボタンを押すと、画面が点灯し、その入力を受け付けます。
  画面が消えているときにプラスタッチを操作すると、画面は点灯しますがその入力は受け付けません。
- 電源が切れた状態で AC アダプターを接続すると、本体の電源がはいり、充電状態になります。

オーディオデータを再生する

● 準備

- オーディオデータを gigabeat に転送してください。オーディオデータの転送のしかたは、「gigabeat room 取扱説明書」をご覧ください。
- 付属のヘッドホンを本体のヘッドホンジャックに接続します。
- ワイヤードリモコン（MEGF60に付属）を使うときは、ワイヤードリモコンを本体のヘッドホンジャックに接続し、付属のヘッドホンをワイヤードリモコンに接続します。
- 電源を入れてください（⇨31 ページ）。

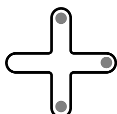


お願い

- 本体の電源が切れている状態で、ヘッドホン、ワイヤードリモコンを抜き差ししてください。
- プラグは奥まで確実に差し込んでください。完全に差し込まれていないと、正しく動作しないことがあります。
- ヘッドホン以外の機器を本体のヘッドホンジャックに接続しないでください。誤動作することがあります。

オーディオデータを選んで再生する

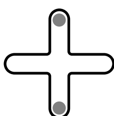
1 トップ画面でプラスタッチの上または下をタッチしてフォルダ（アーティスト、アルバム、ジャンル、フォルダ）を選び、プラスタッチの右をタッチする



選んだフォルダの内容が表示されます。



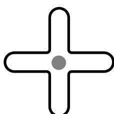
2 プラスタッチの上または下をタッチして再生したいフォルダ、またはオーディオデータを選ぶ



フォルダを選んでさらにプラスタッチの右をタッチすると、その中のフォルダ、またはオーディオデータを表示できます。
プラスタッチの左をタッチすると、一つ上位のフォルダの内容の表示に戻ります。



3 プラスタッチの中央をタッチする



選んだフォルダ、またはオーディオデータを「再生モード」（➡38ページ）にしたがって再生します。
再生中に手順１～３の操作をした場合、再生を中断して、選んだフォルダなどの再生が始まります。



■ トップ画面のアーティスト／アルバム／ジャンルの構成

 アーティスト

-  <アーティスト名> ← 共通のアーティスト名のオーディオデータのライブラリ
  -  <アルバム名>
    -  <オーディオデータ名>
    -  <オーディオデータ名>
  -  <アルバム名>
  -  No Information ← アルバム名情報の無いオーディオデータのライブラリ
-  <アーティスト名>
-  <アーティスト名>
-  No Information ← アーティスト名情報の無いオーディオデータのライブラリ

 アルバム

-  <アルバム名> ← 共通のアルバム名のオーディオデータのライブラリ
  -  <オーディオデータ名>
  -  <オーディオデータ名>
-  <アルバム名>
-  No Information ← アルバム名情報の無いオーディオデータのライブラリ

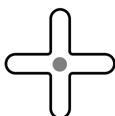
 ジャンル

-  <ジャンル名> ← 共通のジャンル名のオーディオデータのライブラリ
  -  <アーティスト名>
    -  <アルバム名>
      -  <オーディオデータ名>
      -  <オーディオデータ名>
    -  <アルバム名>
  -  <アーティスト名>
-  <ジャンル名>
-  No Information ← ジャンル名情報の無いオーディオデータのライブラリ

● 曲情報が異なると、実際には同じアーティスト名／アルバム名／ジャンル名のオーディオデータでも、違うアーティスト名／アルバム名／ジャンル名のフォルダ構成となります。

再生を止める

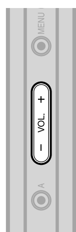
再生中にプラスタッチの中央をタッチする



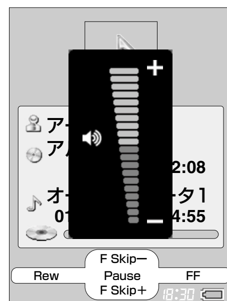
もう一度プラスタッチの中央をタッチすると、続きを再生します。

音量を調節する

VOL(+)ボタンやVOL(−)ボタンを押す



VOL(+)ボタンを押すと音量が上がります。
VOL(−)ボタンを押すと音量が下がります。
VOL(+)またはVOL(−)ボタンを押すと音量調節バーが表示され、ボタンを離すと約2秒後に消えます。

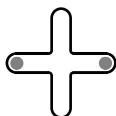


お知らせ

- 再生するフォルダに多数のファイルがはいっているときや、一度再生を停止したあとでは、プラスタッチの中央をタッチしてから再生が始まるまで数秒かかることがあります。
- オーディオデータによっては、ごくまれにノイズが聴こえることがあります。
- 本体のAボタンに「ミュート」を割り当て（54ページ）、Aボタンを押すと、音声をミュートできます。ミュート状態でVOL(+)またはVOL(−)ボタンを押すと、ミュートは解除されます。

早送り／早戻しする

再生中で再生画面表示中に、プラスタッチの左または右をホールドする



左 ： 早戻し
右 ： 早送り

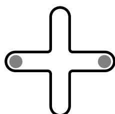
オーディオデータの最後または最初まで操作し続けると、自動的に次または前のオーディオデータに移ります。
プラスタッチを離すと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

- 再生モード（38ページ）を一曲リピートに設定しているときは、プラスタッチをホールドしても、次のオーディオデータには移りません。
- 早戻し / 早送り中は、音声は再生されません。

前後のオーディオデータへスキップする

再生中や一時停止中で再生画面表示中に、プラスタッチの左または右をタッチする



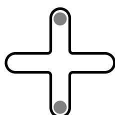
左 ：現在のオーディオデータの先頭へスキップします。
　　オーディオデータの先頭のときは、一つ前のオーディオデータの先頭へスキップします。
右 ：一つ先のオーディオデータの先頭へスキップします。

お知らせ

- 一時停止中にプラスタッチの左または右をホールドすると、プラスタッチから指を離すまでスキップを続けます。
- MENUボタンを押して、MENU画面を表示させ、「フォルダスキップ」を選ぶと、次のフォルダにスキップできます。ワイヤードリモコンのイコライザボタンを2秒以上押した場合も、フォルダをスキップできます。

前後のアルバムへスキップする

再生画面表示中に、プラスタッチの上または下をタッチする

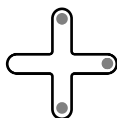


上 ： 一つ前のアルバムへスキップします。
下 ： 一つ先のアルバムへスキップします。

プレイリストを再生する

gigabeat room で gigabeat にプレイリストを作成しておくと、「プレイリスト」フォルダからプレイリストを再生できます。
「プレイリストを作成する」⇨「gigabeat room 取扱説明書」27 ページ

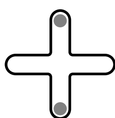
1 トップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「プレイリスト」を選び、プラスタッチの右をタッチする



「プレイリスト」の内容が表示されます。



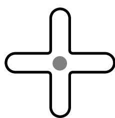
2 プラスタッチの上または下をタッチして再生したいプレイリストを選ぶ



さらにプラスタッチの右をタッチすると、そのプレイリストの中のオーディオデータも選べます。



3 プラスタッチの中央をタッチする



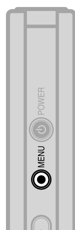
選んだプレイリストまたはオーディオデータを「再生モード」(⇨38ページ)にしたがって再生します。
再生中に手順1～3操作をした場合、再生を中断して、選んだプレイリストなどの再生が始まります。



再生モードを設定する

リピート再生やランダム再生など、お好みに合わせて選べます。

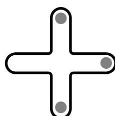
1 再生画面でMENUボタンを押す



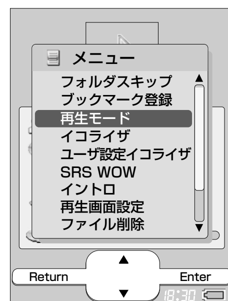
MENU画面が表示されます。



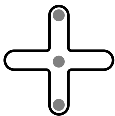
2 プラスタッチの上または下をタッチして「再生モード」を選び、プラスタッチの右をタッチする



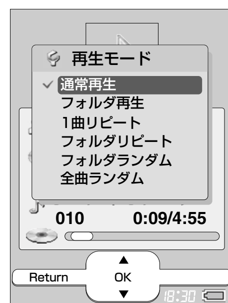
再生モードの一覧が表示されます。



3 プラスタッチの上または下をタッチして設定したい再生モードを選び、プラスタッチの中央をタッチする



モードが設定され、再生画面に戻ります。
再生中の場合はすぐに、一時停止中の場合は、プラスタッチの中央をタッチすると、設定した再生モードで再生が始まります。



再生画面での表示	再生モード	動作内容
なし	通常再生	gigabeat 内のすべてのオーディオデータを繰り返し再生します。
	フォルダ再生	選んだフォルダ／プレイリスト内のオーディオデータを再生します。
	1 曲リピート	一つのオーディオデータを繰り返し再生します。
	フォルダリピート	選んだフォルダ／プレイリスト内のオーディオデータを繰り返し再生します。
	フォルダランダム	選んだフォルダ／プレイリスト内のオーディオデータを順不同に再生します。
ALL	全曲ランダム	gigabeat 内のすべてのオーディオデータを、順不同に再生します。

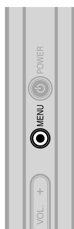
お知らせ

- 再生モードは、設定画面からも設定できます（54 ページ）。
- 再生中にフォルダランダム、または全曲ランダムを選んだときは、再生中のオーディオデータが終わってから順不同にオーディオデータを選んで再生します。

イコライザの種類を設定する

イコライザ（用語 ➡ 57 ページ）の種類を、お好みに合わせて選べます。

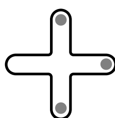
1 再生画面で MENU ボタンを押す

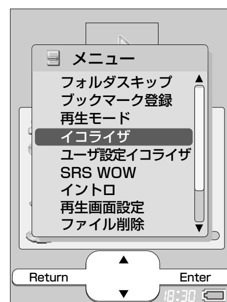


MENU 画面が表示されます。

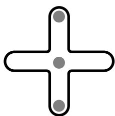


2 プラスタッチの上または下をタッチして「イコライザ」を選び、プラスタッチの右をタッチする





3 プラスタッチの上または下をタッチして設定したいイコライザの種類を選び、プラスタッチの中央をタッチする



イコライザの種類が設定され、再生画面に戻ります。
「USER」を選ぶと、「ユーザ設定イコライザ」で設置した音質で再生します。
「「USER」を選んだときの調整」➡42 ページ



再生画面での表示	イコライザの種類
なし	FLAT
BASS +	BASS+
BASS ++	BASS++
LOUD NESS	LOUDNESS
ACSTC 1	ACOUSTIC 1
ACSTC 2	ACOUSTIC 2
CLSSC 1	CLASSIC 1
CLSSC 2	CLASSIC 2
DANCE 1	DANCE 1
DANCE 2	DANCE 2
HARD 1	HARD 1
HARD 2	HARD 2
HIP HOP 1	HIP HOP 1
HIP HOP 2	HIP HOP 2

再生画面での表示	イコライザの種類
JAZZ 1	JAZZ 1
JAZZ 2	JAZZ 2
LATIN 1	LATIN 1
LATIN 2	LATIN 2
PIANO 1	PIANO 1
PIANO 2	PIANO 2
POPS 1	POPS 1
POPS 2	POPS 2
R&B 1	R&B 1
R&B 2	R&B 2
ROCK 1	ROCK 1
ROCK 2	ROCK 2
VOCAL 1	VOCAL 1
VOCAL 2	VOCAL 2
USER	USER

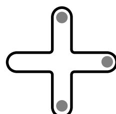
お知らせ

- プラスタッチの上または下をタッチすると、一時的に選んだイコライザの音質設定になります。ただし、プラスタッチの中央をタッチしなければその設定は確定されません。
- イコライザの種類は、ワイヤードリモコンのイコライザボタン(🔈+)を押しても選べます。
- イコライザの種類は、設定画面からも設定できます（⇨54 ページ）。
- イコライザとSRS WOWは、同時には使えません。最後に選んだ方が有効になります。

イコライザの種類を設定する（つづき）

「USER」を選んだときの調整

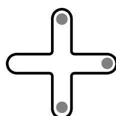
1 トップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「設定」を選び、プラスタッチの右をタッチする



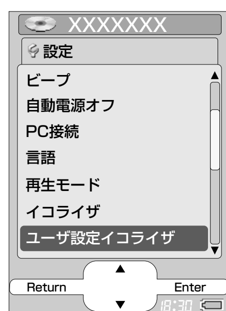
設定画面が表示されます。



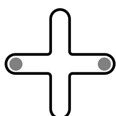
2 プラスタッチの上または下をタッチして「ユーザ設定イコライザ」を選び、プラスタッチの右をタッチする



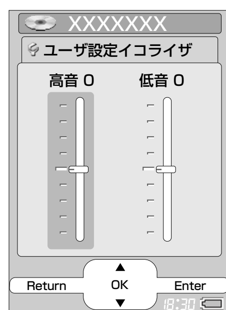
ユーザ設定イコライザの調整画面が表示されます。



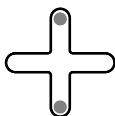
3 プラスタッチの右または左をタッチして「高音」または「低音」を選ぶ



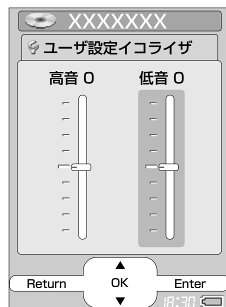
右　：　低音
左　：　高音



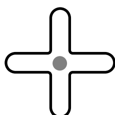
4 プラスタッチの上または下をタッチして調整する



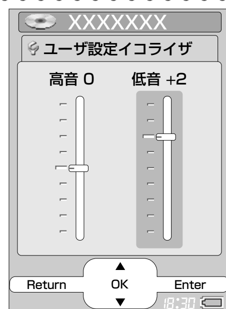
上 ：強くなる
下 ：弱くなる



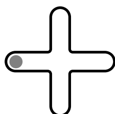
5 調整が終わったら、プラスタッチの中央をタッチする



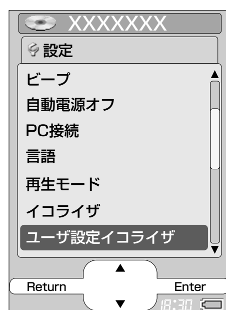
調整内容が確定し、設定画面に戻ります。



6 プラスタッチの左をタッチする



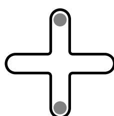
トップ画面に戻ります。



ブックマークに登録する

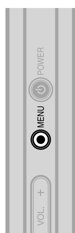
お気に入りのオーディオデータをブックマークに登録すると、登録したオーディオデータだけの再生ができます。

1 ナビ画面でプラスタッチの上または下をタッチして、ブックマークに登録したいオーディオデータを選ぶ



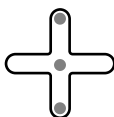


2 MENU ボタンを押す

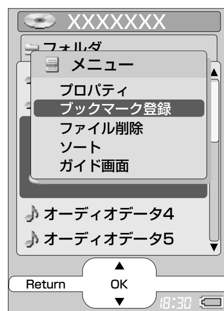


MENU 画面が表示されます。

3 プラスタッチの上または下をタッチして「ブックマーク登録」を選び、プラスタッチの中央をタッチする



選んだオーディオデータがブックマークに登録され、ブックマークアイコンに変わります。



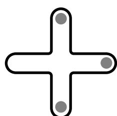
お知らせ

- 再生画面で MENU ボタンを押しても、「ブックマーク登録」を選べます。
- ブックマークに登録済みのオーディオデータを選び、手順３で「ブックマーク解除」を選ぶと、ブックマークから削除できます。
- ブックマークには、50 件まで登録できます。
- プレイリストやフォルダはブックマークに登録できません。
- 「ブックマーク登録」の機能は、「A ボタン」に割り当てることができます。「A ボタン割当て」➡54 ページ

はじめに
準備する
使用する
その他

ブックマークに登録したオーディオデータを見るには

1 トップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「ブックマーク」を選び、プラスタッチの右をタッチする



登録したオーディオデータが表示されます。プラスタッチの中央をタッチすると、選んでいるオーディオデータを再生できます。

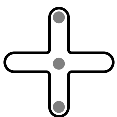


お知らせ

- ブックマークの画面で、MENU ボタンを押し MENU 画面を表示させ、「ブックマーク解除」を選ぶと、選んでいるオーディオデータをブックマークから削除できます。
- リセット（59ページ）したり電池の残量がなくなって電源が切れたときは、最後に PC と USB 接続したときのブックマークの状態に戻ります。

ブックマークに登録したすべてのオーディオデータを再生するには

1 トップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「ブックマーク」を選び、プラスタッチの中央をタッチする



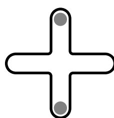
登録したすべてのオーディオデータが再生されます。



オーディオデータをごみ箱に入れる

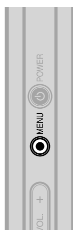
削除したいオーディオデータまたはプレイリストは、ごみ箱に入れることができます。ごみ箱に入れると、そのファイルは、再生候補からはずれます。ごみ箱に入れたデータは、あとでまとめて完全に削除することができます。

1 ナビ画面でプラスタッチの上または下をタッチして、削除したいオーディオデータなどを選ぶ



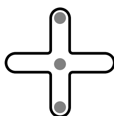


2 MENU ボタンを押す

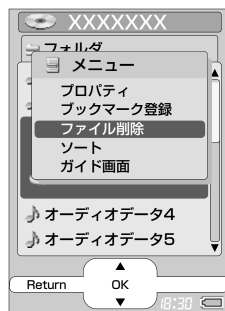


MENU 画面が表示されます。

3 プラスタッチの上または下をタッチして「ファイル削除」を選び、プラスタッチの中央をタッチする



選んだオーディオデータなどがごみ箱にはいります。



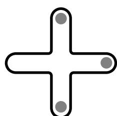
お知らせ

- 再生画面で MENU ボタンを押しても、「ファイル削除」を選べます。
- ごみ箱に入れたオーディオデータなどを選び、手順3で「ファイル削除取消」を選ぶと、ごみ箱から元に戻せます。
- ごみ箱には、50 件まで入れられます。

はじめに
準備する
使用する
その他

ごみ箱に入れたオーディオデータを見るには

1 トップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「ごみ箱」を選び、プラスタッチの右をタッチする



ごみ箱に入れたオーディオデータなどが表示されます。
ごみ箱に入れたオーディオデータは再生できません。



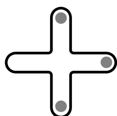
お知らせ

- ごみ箱の画面でオーディオデータなどを選び、MENUボタンを押しMENU画面を表示させ、「ファイル削除取消」を選ぶと、ごみ箱から元に戻せます。
- リセット（59ページ）したり電池の残量がなくなって電源が切れたときは、最後に電源を入れたときのごみ箱の状態に戻ります。

ごみ箱に入れたオーディオデータを削除する

ごみ箱に入れたオーディオデータまたはプレイリストは、gigabeatから完全に削除できます。削除する場合は、gigabeat にＡＣアダプターを接続しておいてください。（28 ページ）

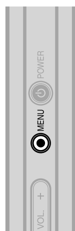
1 トップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「ごみ箱」を選び、プラスタッチの右をタッチする



ごみ箱に入れたオーディオデータなどが表示されます。



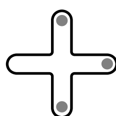
2 MENU ボタンを押す



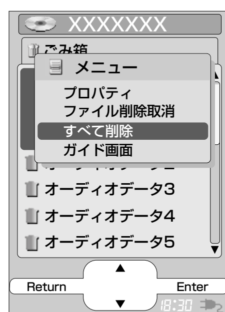
MENU 画面が表示されます。



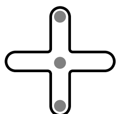
3 プラスタッチの上または下をタッチして「すべて削除」を選び、プラスタッチの右をタッチする



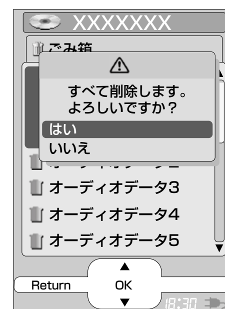
削除の確認画面が表示されます。



4 プラスタッチの上または下をタッチして「はい」を選び、プラスタッチの中央をタッチする



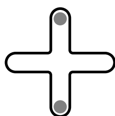
ごみ箱に入れたデータがごみ箱フォルダから削除され、元のフォルダからも削除されます。



オーディオデータの情報を見る

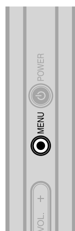
オーディオデータ、プレイリストまたはフォルダの情報を見ることができます。

1 ナビ画面でプラスタッチの上または下をタッチして、情報を見たいオーディオデータなどを選ぶ



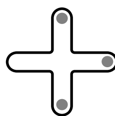


2 MENU ボタンを押す

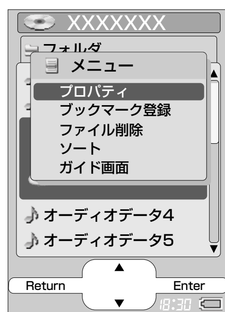


MENU 画面が表示されます。

3 プラスタッチの上または下をタッチして「プロパティ」を選び、プラスタッチの右をタッチする



選んだオーディオデータなどの情報が表示されます。



- オーディオデータを選んだ場合
  トラック名
  ファイルフォーマット
  ビットレート
  サンプリング周波数
  再生時間
  アーティスト名
  アルバム名
  ジャンル
- プレイリストを選んだ場合
  プレイリストに登録されているファイル数
- フォルダを選んだ場合
  フォルダ数
  オーディオファイル数

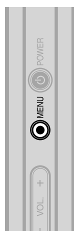
お知らせ

- 再生画面で MENU ボタンを押しても、「プロパティ」を選べます。

イントロ再生をする

各オーディオデータの頭の部分を 10 秒または 60 秒間再生することができます。

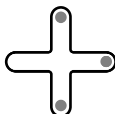
1 再生画面で MENU ボタンを押す

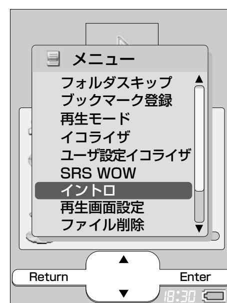


MENU 画面が表示されます。

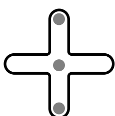


2 プラスタッチの上または下をタッチして「イントロ」を選び、プラスタッチの右をタッチする





3 プラスタッチの上または下をタッチして再生したいイントロの種類を選び、プラスタッチの中央をタッチする



イントロの種類が設定され、再生画面に戻ります。
再生中の場合はすぐに、一時停止中の場合は、プラスタッチの中央をタッチするとすぐにイントロ再生が始まります。



再生画面での表示	イントロの種類	動作内容
なし	なし	イントロ再生しないで、すべてを再生する
10	10 秒イントロ	オーディオデータを設定した再生モードにしたがって頭から 10 秒ずつ再生します。
60	60 秒イントロ	オーディオデータを設定した再生モードにしたがって頭から 60 秒ずつ再生します。

お知らせ

- イントロの種類は、設定画面からも設定できます（54 ページ）。

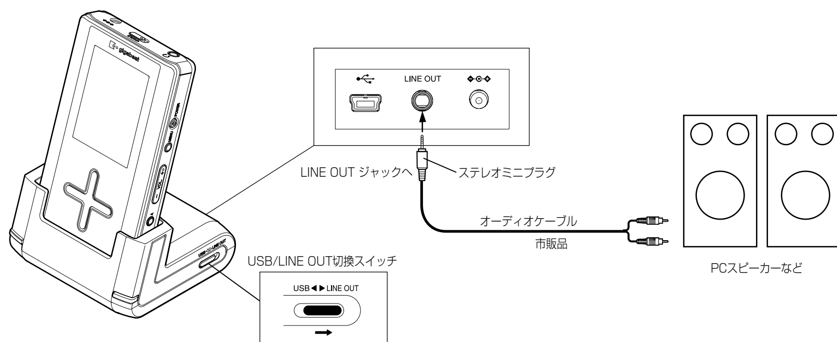
PC スピーカーなどから音声を出力する

USB クレードル（MEGF60 に付属）の LINE OUT ジャックを使うと、スピーカーなどで再生できます。

1 gigabeat を USB クレードルに接続する

2 USBクレードルのLINE OUTジャックとPCスピーカーなどを接続する

3 USB クレードルの USB ／ LINE OUT 切換スイッチを「LINE OUT」にする



4 再生する

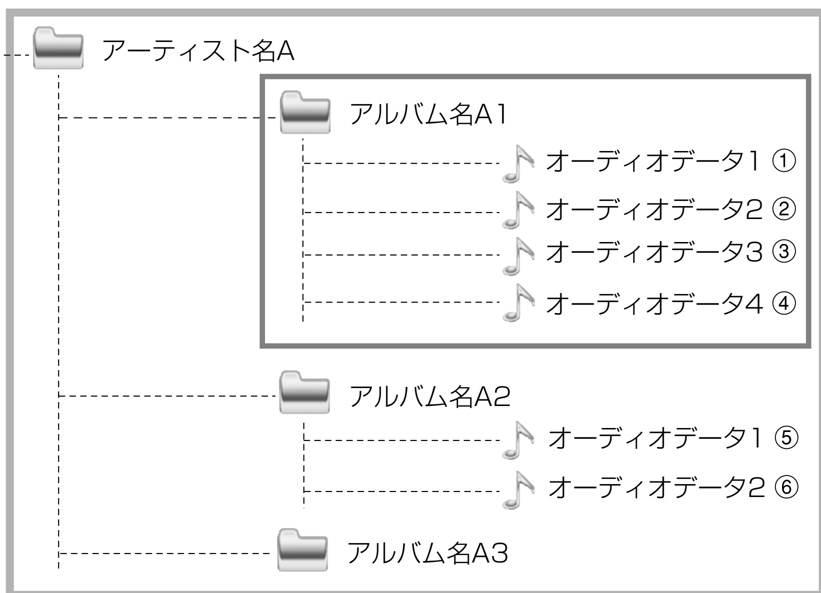
お知らせ

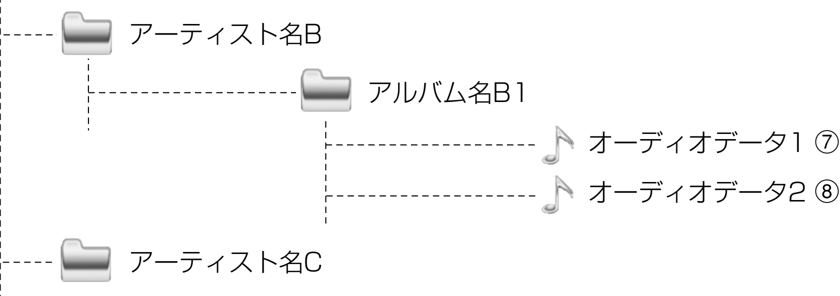
- USB ／ LINE OUT 切換スイッチを「USB」から「LINE OUT」に変更する場合は以下のようにしてください。
  - USB 接続中のとき
    gigabeat room を終了、または何も処理していない状態にし、gigabeat を切り離した状態で、変更してください。
  - ネットワークに接続中のとき
    gigabeat roomを終了、または何も処理していない状態にし、gigabeatのネットワークドライブを切断した状態で、変更してください。

オーディオデータの選択と再生順について

gigabeat には、数多くオーディオデータを記録することができます。
gigabeat内のフォルダの階層を以下のようにしておくと、聴きたいオーディオデータを簡単に選ぶことができます。

gigabeat 内のフォルダ

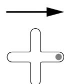




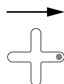
:フォルダ

:オーディオデータ











中央をタッチ：
アーティスト名Aのオーディオデータを再生する。
52ページの　　　部

中央をタッチ：
アルバム名A1のオーディオデータを再生する。
52ページの　　　部

中央をタッチ：
オーディオデータ1を再生する。

- 再生モードが通常再生の場合、再生順は以下のとおりです。

以下でプラスタッチの中央をタッチした場合	再生順
アーティスト名A	①～⑥、⑦、⑧の順に繰り返す
アルバム名A2	⑤、⑥、⑦、⑧、①～④の順に繰り返す

- 再生モードがフォルダ再生の場合、再生順は以下のとおりです。

以下でプラスタッチの中央をタッチした場合	再生順
アーティスト名A	①～⑥の順
アルバム名A2	⑤、⑥の順
アーティスト名B	⑦、⑧の順

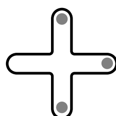
お知らせ

- gigabeatで再生または表示できるのは、gigabeat roomまたはWindows Media Player 9シリーズ／10で転送したオーディオデータです。
- 一つのフォルダ内の再生の対象となるオーディオデータの数は最大で999です。

設定を変更／確認する

gigabeatでは、再生モードやビープ音などいろいろな設定ができます。設定画面で、設定を確認したり、お好みに合わせて変更できます。

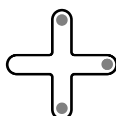
1 トップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「設定」を選び、プラスタッチの右をタッチする



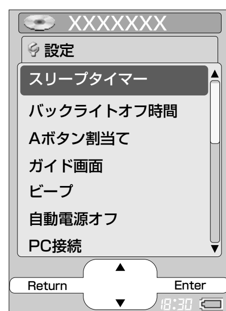
設定画面が表示されます。



2 プラスタッチの上または下をタッチして変更/確認したい設定項目を選び、プラスタッチの右をタッチする



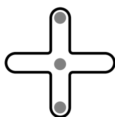
選んだ設定項目の選択項目が表示されます。



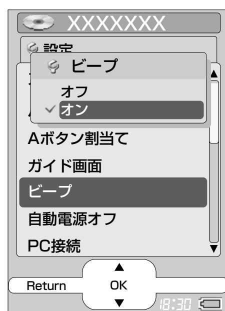
スリープタイマー	何分後に電源が切れるかを選びます。「オフ」を選ぶとこの機能は働きません。
バックライトオフ時間	何も操作しない状態が何分続くと自動的に画面のバックライトが消えるかを選びます。
A ボタン割当て	本体側面のAボタンを「イコライザ」、「アルバムスキップ」、「ブックマーク」、「SRS WOW」、「ミュート」のどれかに割り付けます。SRS WOW を選んだときは、ボタンを押すたびにオフ、設定 1、設定 2 の順に繰り返し切り換わります。
ガイド画面	ガイド画面（操作ガイド）を表示するか表示しないかを選びます。
ビープ	ビープ音を、鳴らすか鳴らさないかを選びます。
自動電源オフ	再生中またはＵＳＢ接続中以外で、何も操作しない状態が何分続くと自動的に電源が切れるかを選びます。「なし」を選ぶとこの機能は働きません。
PC 接続	USBケーブルとLANアダプターが接続されたUSBクレードルにgigabeatを差し込み、パソコンと接続するときの動作を選びます。 「USB 優先」：USB ケーブルを使っての接続を優先します。 「LAN 優先」：LANアダプターを使ってのLAN接続を優先します。

言語	MENU 画面とエラーメッセージの表示言語を選びます。再生画面やナビ画面の表示言語は変わりません。
再生モード	リピート再生やランダム再生などを選びます（⇨38 ページ）。
イコライザ	イコライザの種類を選びます（⇨40 ページ）。
ユーザ設定イコライザ	イコライザの種類の一つ「USER」を自由に設定できます（⇨42 ページ）。
SRS WOW	SRS WOW 機能（自然な立体音場感、豊かな低音、輪郭のはっきりしたクリアーなサウンドになる）を働かせるか働かせないかを選びます。機能モードは 3 種類あります。
イントロ	イントロ再生の時間を選びます（⇨50 ページ）。
再生画面	再生画面のデザインを選びます。
背景	背景を選びます。
ソート	オーディオデータの並べかたを、トラック番号順、名前順または日付順から選びます。
時刻形式	時刻表示を12時間表示にするか24時間表示にするかを選びます。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
日付と時刻	日付と時刻を設定します（⇨56 ページ）。
システム	gigabeatのバージョン、内蔵ハードディスクの全容量、使用容量、今までに再生したファイル数を表示します。

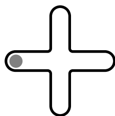
3 プラスタッチの上または下をタッチして選択項目を選び、プラスタッチの中央をタッチする



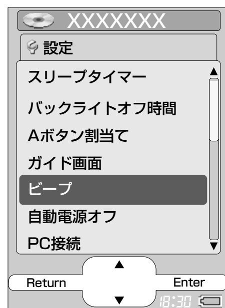
設定が変更され、「✓」印が左側に表示されます。



4 プラスタッチの左をタッチする



トップ画面に戻ります。

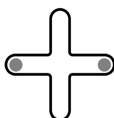


お知らせ

- 「ソート」は、ナビ画面での MENU 画面からも選べます。

日付と時刻を設定する

1 設定画面の「日付と時刻」の設定画面で、プラスタッチの右または左をタッチして変更したい項目を選ぶ



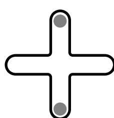
右をタッチするたびに、年→月→日→午前／午後→時→分の項目に移動します。左をタッチすると逆方向に移動します。

年を選んでいるとき、プラスタッチの左をタッチすると設定画面に戻ります。

「時刻形式」の設定（⇨54 ページ）を「24時間」に設定した場合は、午前／午後は表示されません。



2 プラスタッチの上または下をタッチして数値を合わせる

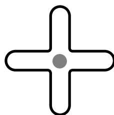


上 ： 数値がふえます。
下 ： 数値が減ります。



3 手順 1、2 を繰り返して他の項目を合わせる

4 プラスタッチの中央をタッチする



日付と時刻が設定されます。

お願い

- ネットワークで gigabeat に転送する場合は、必ず日付、時刻を合わせてください。
- ネットワーク経由で以下の操作を行った場合は、gigabeatの日付と時刻が使われます。
  - gigabeat room で、gigabeat にフォルダを作成 / コピー / 移動したとき
  - エクスプローラで、gigabeat にフォルダを作成 / コピー / 移動したとき
  - エクスプローラで、gigabeat にファイルを作成したとき
- ネットワークの設定は、「ネットワーク編　取扱説明書」をご覧ください。

用語

MP3 (MPEG-1 Audio Layer 3)

ISO（国際標準化機構）のワーキンググループである MPEG が制定した国際規格。この圧縮方式では、約 1/10 から 1/12 の圧縮率が得られる。

WAV

Windows の標準的な非圧縮音声ファイル。

WMA (Windows Media Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式、およびそれを使用したオーディオファイル。

イコライザ

いくつかの同波数帯域ごとに、つまみなどで目盛りを増減して、音質をコントロールする装置や機能のこと。

タグ情報

オーディオファイルに書き込まれている、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなどの情報。

CDDB

音楽CDに収録された曲の情報データベースサービスのこと。インターネットでこの情報を取得できる。

エラーメッセージ一覧

下表のようなエラーメッセージが表示されることがありますので、以下の対処方法に従ってください。

メッセージ	内容＆対処方法
サポート外のデータフォーマットです	再生しようとしたオーディオデータは、gigabeat で再生できない形式です。gigabeat room を使用して、転送してください（gigabeat room 取扱説明書「オーディオデータを gigabeat に転送する」）。
サポート外のディスクフォーマットです	内蔵ハードディスクを FAT32 にフォーマットしなおしてください。MEGF10、MEGF20 の場合は、OS のフォーマットツールを使用してください。MEGF60 の場合は、gigabeat format を行ってください（gigabeat room 取扱説明書「困ったときは」）。
オーディオデータがありません	gigabeat にオーディオデータを転送してください（gigabeat room 取扱説明書「オーディオデータを gigabeat に転送する」）。
オーディオデータが壊れています	再生しようとしているオーディオデータが壊れています。gigabeat room を使用して、転送し直してください（gigabeat room 取扱説明書「オーディオデータを gigabeat に転送する」）。
オーディオデータの読込みに失敗しました	オーディオデータを開けず、再生できませんでした。gigabeat room を使用して、転送し直してください（gigabeat room 取扱説明書「オーディオデータを gigabeat に転送する」）。
充電してください	内蔵電池の残量がありません。AC アダプターを接続し、充電してください（⇨28 ページ）。

故障かな…？と思ったときは

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

現象	原因	対処	参照ページ
電源がはいらない、ボタンを押しても動作しない	BATTERYスイッチが「OFF」になっている。	BATTERYスイッチを「ON」にしてください。	28
	内蔵電池の残量がなくなっている。	ACアダプターを接続して、内蔵電池を充電してください。	28
	HOLD状態になっている。	HOLDスイッチを戻し、HOLD状態を解除してください。	18、21
	ボタンを押す時間が短い。	電源を入れるときは、POWERボタンを2秒以上押してください。	31
	パソコンと接続している。	パソコンと接続しているときは本体の操作はできません。	gigabeat room 取扱説明書
充電してもすぐに残量がなくなる	内蔵電池が劣化している。	新しい内蔵電池に交換してください。内蔵電池の交換は、お買上げの販売店へご依頼ください。	11
再生できない	オーディオデータがない。	gigabeat roomを使ってオーディオデータを転送してください。	gigabeat room 取扱説明書
音が聞こえない	ヘッドホンが正しく接続されていない。	ヘッドホンとワイヤードリモコンと本体の接続を確認してください。	32
	音量の調節が最小になっている。	音量を調節してください。	35
充電操作をしても充電中の画面にならない	BATTERYスイッチが「OFF」になっている。	BATTERYスイッチを「ON」にしてください。	28
	正しく接続されていない。	ACアダプターと電源コードと本体の接続を確認してください。	28
	使用温度の範囲をはずれている。	使用温度の範囲内で充電してください。	60
ACアダプターを接続中に充電中の表示が消灯した	gigabeatの温度上昇を制限するために自動的に充電を停止している。	故障ではありません。そのままお使いください。しばらくすると充電が再開されます。	30
パソコンがgigabeatを認識しない	パソコンと正しく接続されていない。	パソコンとの接続を確認してください。	gigabeat room 取扱説明書

■リセットする

もしも上記の対処法でも現象が解決しない場合などには、本体を以下の方法でリセットしてください。

1　本体からACアダプターを抜く
2　BATTERYスイッチをいったん「OFF」にし、5秒程度たってから再度「ON」にする
再生モードなどの状態は、初期状態に戻ります。

仕様

内蔵電池	リチウムイオン充電池	
質量	MEGF60 MEGF20、MEGF10	：約 170g（本体のみ） ：約 160g（本体のみ）
外形寸法	MEGF60 MEGF20、MEGF10	：63mm × 19mm × 106mm （幅 / 高さ / 奥行き）突起部除く ：63mm × 16mm × 106mm （幅 / 高さ / 奥行き）突起部除く
オーディオ形式	●MPEG-1 Audio Layer 3 (MP3) ●Windows Media Audio (WMA) ●PCM (WAV)	
サンプリング周波数	22.05kHz ～ 48kHz（⇨ 61 ページ）	
ビットレート	16kbps ～ 320kbps（⇨ 61 ページ）	
記録媒体	MEGF60：内蔵ハードディスク 60GB* MEGF20：内蔵ハードディスク 20GB* MEGF10：内蔵ハードディスク 10GB*	
最大収録時間	MEGF60：約 996** 時間（ビットレート 128kbps 時） MEGF20：約 332** 時間（ビットレート 128kbps 時） MEGF10：約 166** 時間（ビットレート 128kbps 時）	
連続再生時間	約 16** 時間（AC アダプターを使用していない場合） ※常温（25℃）、バックライト非点灯、調節範囲の中央の音量で、128kbps、44.1kHz の WMA オーディオデータの場合 この連続再生時間は、使用条件、使用周囲温度、内蔵電池の充電繰返し回数などによって変わるため、あくまで目安であり、保証する時間ではありません。使用条件の範囲内でも低温の環境で使うと連続再生時間は短くなります。 WAV オーディオデータの再生は、電池の消耗が大きいため、MP3 や WMA に比べて連続再生時間が大幅に短くなります。	
使用条件	温度：5℃～ 35℃　湿度：30% ～ 80%（RH） （ただし結露しないこと）	
USB 端子	USB2.0/USB1.1	
ヘッドホン端子	3.5mm ジャック／ステレオタイプ 負荷インピーダンス 16 Ω	
S/N 比	95dB 以上	
AC アダプター	入力電源条件　AC100V，50/60Hz 定格出力　DC5V，3A	
カラー液晶 ***	2.2 型 QVGA 低温ポリシリコン TFT カラー液晶	

*　１GBを10億バイトで計算した場合の数値です。実際のフォーマットされた容量は、それぞれ表記の容量よりも少なくなります。
**　これらの値は参考値であり、保証する値ではありません。
*** カラー液晶は、非常に高精度の技術で作られております。非点灯、常時点灯などの表示(画素)が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

■ サンプリング周波数とビットレートの組合せについて

gigabeatで再生できるオーディオデータは、サンプリング周波数とビットレートの組合せが以下のとおりとなります。これ以外の組合せのオーディオデータは、正常に再生できない場合があります。

● MP3（ステレオ）の場合

サンプリング周波数	22.05kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート	32kbps～320kbps

● MP3（モノラル）の場合

サンプリング周波数	22.05kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート	16kbps～64kbps

● WMA（ステレオ）の場合

サンプリング周波数	22.05kHz/44.1kHz
ビットレート	32kbps/48kbps～192kbps

● WMA（モノラル）の場合

サンプリング周波数	44.1kHz
ビットレート	32kbps

● WAV（ステレオ／モノラル）の場合

サンプリング周波数	22.05kHz、44.1kHz、48kHz
ビット数	16ビット

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくしているために実際とは多少異なる場合があります。
- アイコンの表示位置などは変更になる場合があります。

内蔵電池の取り出しかた

gigabeatを廃棄（➡11ページ）するとき、内蔵電池を取り出してください。
廃棄するとき以外は、gigabeatを絶対に分解しないでください。

⚠危険

内蔵電池にクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたりしないこと

電極がショートすると、発熱・破裂・発火する原因となります。



内蔵電池の電極（+端子と−端子）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

電極がショートすると、発熱・破裂・発火する原因となります。



内蔵電池を加熱したり、分解・改造したり、火や水の中にいれないこと

破裂・発火・発熱によって、火災・大けがの原因となります。



火のそばや炎天下などに置かないこと

火災・破裂・発熱の原因となります。



熱器具に近づけないこと

火災・破裂・発熱の原因となります。



内蔵電池のコネクターに絶縁テープを貼ること

電極がショートすると、破裂・発火のおそれがあります。



⚠警告

内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かないこと

けが・事故の原因となります。



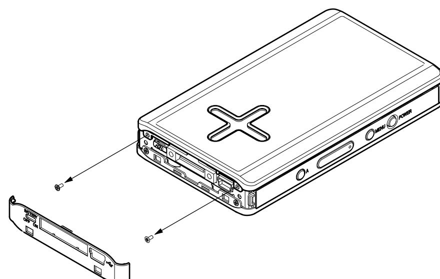
内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に障害が起きる原因となります。

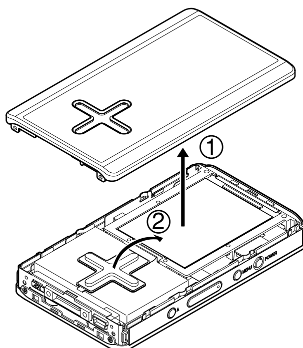


1 底面のBATTERYスイッチを「OFF」にする

2 底面のネジ2箇所を精密ドライバー（+）ではずす



3 表面のキャビネットをはずし①、プラスタッチを液晶側へ倒す②

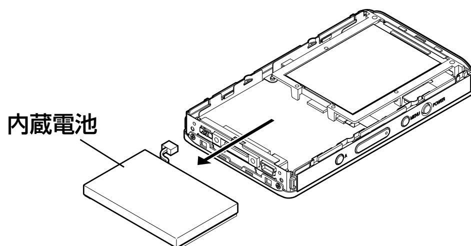


4 内蔵電池を取り出す

コネクターとは反対側を、コネクター部分に力が加わらないように持ち上げてください。

5 コネクターをはずす

内蔵電池とコネクターを接続しているケーブルを必ずまっすぐ矢印方向に引っ張って、はずしてください。



6 ケーブルを電池本体に貼り付け、ポリ袋などに入れる

取りはずした内蔵電池は、ケーブルのコネクター部をテープでおおうようにして電池本体に貼り付け、ポリ袋などに入れてください。

お願い

- 内蔵電池は完全に消耗したことを確認してから、取りはずしてください。
- BATTERY スイッチが「OFF」になっていることを確認してから、取りはずしてください。
- 一度取り出した内蔵電池は、基板のコネクターに接続しないでください。
- 取り出した内蔵電池はなるべく早めに充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

東芝 HDD オーディオプレーヤーで使われるソフトウェアのライセンス情報

東芝HDDオーディオプレーヤーに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

東芝HDDオーディオプレーヤーは、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「ＥＵＬＡ」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「ＥＵＬＡ」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「ＥＵＬＡ」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。

ホームページアドレス http://www.gigabeat.net/mobileav/audio/eula

また、東芝HDDオーディオプレーヤーのソフトウェアコンポーネントには、東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、東芝の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。東芝自身のソフトウェアコンポーネンツの取扱いについては、添付の「ソフトウェア使用許諾契約書」を参照ください。なお、「ＥＵＬＡ」の適用を受けない東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた東芝 HDD オーディオプレーヤーは、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「ＥＵＬＡ」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「ＥＵＬＡ」をお読みください。

東芝HDDオーディオプレーヤーに組み込まれた「ＥＵＬＡ」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「ＥＵＬＡ」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「ＥＵＬＡ」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

対応ソフトウェアモジュール	参照箇所
Linux kernel, Busybox, Samba, linux-wlan, dhcpcd	東芝 HDD オーディオプレーヤーで使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文） Exhibit A
glibc	東芝 HDD オーディオプレーヤーで使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文） Exhibit B

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program,and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any thirdparty, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example,

if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8.If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10.If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11.BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General PublicLicense. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0.This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4.You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5.A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6.As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library”, the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12.If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14.If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15.BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon,President of Vice

That's all there is to it!

MEMO

MEMO

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日 ・ 販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 補修用性能部品について
  - 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後６年です。
  - 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは（持ち込み修理）

「故障かな？…と思ったときは」をご覧になって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ずBATTERYスイッチを「OFF」にしてから、お買い上げの販売店、または東芝家電修理ご相談センター（フリーダイヤル0120-1048-41）にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	HDD オーディオプレーヤー
形名	MEGF60/MEGF20/MEGF10
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	
便利メモ	お買い上げ店名 ☎（　　）　－

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

操作上のご質問、ご相談は以下へお願いします。

東芝モバイル AV サポートセンター
受付時間 月～土（祝祭日、年末年始等を除く）
10:00 ～ 20:00
TEL 0570-05-7000 （ナビダイヤル）
FAX 03-3258-0470

ホームページもご覧ください。

http://www.gigabeat.net/

株式会社 **東芝**
デジタルメディアネットワーク社
新規事業推進室
〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

GX1C00066110
PX1C000661AA



